

合同教育研究会議（3月23日開催）議事概要

1 開催日時

令和4年3月23日 13時00分～14時15分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長、狩野副学長兼研究・地域連携本部長、猪股教育支援本部長、三上学生支援本部長、橋本企画本部長、福島看護学部長、高橋社会福祉学部長、亀田ソフトウェア情報学部長、高嶋総合政策学部長、川崎盛岡短期大学部長、長坂盛岡短期大学部生活科学科長、原盛岡短期大学部国際文化学科長、松田宮古短期大学部長、大志田宮古短期大学部経営情報学科長
菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）、
長谷川委員（学外委員：製品評価技術基盤機構理事長※Web参加）
欠席：宮野副学長兼事務局長、劉高等教育推進センター国際教育研究部長、

[事務局]

鈴木事務局次長兼総務室長、関屋教育支援室長、鎌田学生支援室長、藤澤研究・地域連携室長、北島企画室長、高橋宮古事務局長、八木主幹、鈴木主幹、渡部主査

4 会議の概要

議事録確認

前回会議3月9日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

審議事項

- (1) 【岩手県立大学宮古短期大学部】ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの一部改定について
猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。
内容について審議の上、原案のとおり了承された。
- (2) 令和4年度計画（案）について
橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。
内容について審議の上、原案のとおり了承された。
- (3) 第四期中期目標に係る岩手県立大学意見（中間案）について
狩野副学長から、資料に基づき説明があった。
内容について審議の上、原案のとおり了承された。
- (4) 認証評価受審に向けた「点検・評価報告書」等の提出について
橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。
石堂副学長から、社会貢献及び学生支援については、A評価ではなくS評価でも良いのではないか、との発言があった。
三上学生支援本部長から、学生支援については国の奨学金制度より拡充した支援を実施しているなど力を入れているので是非お願いしたい、との発言があった。

内容について審議の上、評定については改めて検討の上、最終判断は学長に一任することとし、それ以外の内容については原案のとおり了承された。

また、学長から、認証評価の資料について、各学部で読み合せて、具体的な改善に活かしてほしい、との発言があった。

協議事項

(1) いわて高等教育地域連携プラットフォーム「地域との連携による人材育成ワーキンググループ」運営会議の設置等について

石堂副学長から、資料に基づき説明があった。

学長から、いわて高等教育コンソーシアムとの関係について質問があり、これに対し石堂副学長から、各組織との関連は資料P.24のようになっており、内容が重なる部分については協力していきたい、との発言があった。

また、委員から、学内の運営会議の部会が3つとなった経緯について質問があり、これに対し石堂副学長から、理系、文系及び医療・福祉分野に分け、どのような人材育成をしていくかそれぞれ検討し、情報共有していきたいと考えている、との発言があった。

また、学長から、録画機能を使って、いつでも使えるプログラムを作成するのも1つの方法では、との発言があり、石堂副学長から、ステークホルダー含めどのような人材が求められているかというニーズを探ることから始めていき、これと大学のプログラムとのマッチングを行い、例えば本学の副専攻を紹介するもの良いと思っている、との発言があった。また、石堂副学長から、いわて高等教育コンソーシアムで単位互換といった連携も行っているの、組み込んでいければと考えている、との発言があった。

また、委員から、「保健・医療・福祉」部会について、座長に看護学部又は社会福祉学部の教員1名が想定されているが、分野が広いので抜けが生じないか危惧されるのでは、との発言があり、これに対し石堂副学長から、「保健・医療・福祉」全般に、となると確かに難しい、全てを網羅するというよりは、まずは1つの分野でまとめていき、ある程度まとまったら成功事例を他の分野に広げていきたいと考えている、との発言があった。

内容について、原案のとおり了承された。

(2) 広報方針等検討ワーキンググループの設置について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

委員から、ワーキンググループの3つの検討事項についてレベル感がそれぞれ異なるが、検討の経緯はどのようであったか、との質問があった。これに対し、橋本企画本部長から、検討事項「ア 次期主要広報媒体制作の方向性に関すること」については、業者の選定方法や、制作そのものをどのような方向性で進めて行くかという概念も含まれている、「イ 第四期中期計画期間におけるブランディングに関すること」については、アと重なる部分もあるが、どのようなブランディングを想定して作っていくかという意図で載せている、「ウ 学外ウェブサイトの更新に関すること」は、作業的なことも含まれるが、ア～ウとも全学的に意見がほしいものではあるが、その母体がどこになるかが難しいものであることから、今回所掌事項として挙げたものである、との説明があった。

また、委員から、大学にとって有意義な広報と地方公共団体等にとって有意義な広報とは異なる、県の広報と同じになってしまうのではなく、「大学として意味のある広報」という意

識をもって議論することを提案したい、との発言があった。
内容について、原案のとおり了承された。

報告事項（口頭報告）

- （１） 令和３年度合同企業等説明会の開催結果について（報告）
三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。

報告事項（資料報告）

- （１） 令和４年度入学式について（教育支援本部）
- （２） 令和３年度第３回就職支援連絡調整会議の開催結果について（報告）（学生支援本部）
- （３） 岩手県立大学_T-MAJSNT 個別相談会の実施結果について（研究・地域連携本部）
- （４） 令和３年度に出展した展示会の実績について（研究・地域連携本部）
- （５） 令和３年度岩手県立大学ファクトブックの作成について（企画本部）
- （６） 「令和３年度第１１回職員衛生委員会」の結果について（総務室）

その他

委員から、いわて高等教育地域連携プラットフォームについて、第四期中期目標と重なる部分があり、中期目標の実績としてプラットフォームの成果を反映させられると良い、との発言があった。また、委員から、認証評価について、エビデンスがあるものについては積極的にアピールした方が評価する側にとってもどこがポイントか分かりやすい、との発言があった。